

| | | | |
|-------|-----------------------------------|-----|---|
| 対象クラス | 第2学年生活デザイン科、第3学年ビジネス科・ビジネス情報科 選択者 | 単位数 | 2 |
| 使用教科書 | 音楽 I Tutti+ (教育出版) | | |
| 使用副教材 | ミュージックナビゲーション(教育出版) | | |

「音楽 I」はこんな科目です。

音楽の幅広い活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を伸ばして、生涯にわたり音楽を愛好する心情を高めていきます。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・発声の基礎やギター等、器楽演奏の基礎技術を身に付けます。
- ・芸術歌曲(イタリア歌曲、ドイツリート、日本歌曲など)の曲種に応じた表現を工夫して歌うことができます。
- ・音楽を形づくっている要素を知覚し、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、創造的に表現できます。

| 評価の観点 | 割合 | 評価規準・評価内容 | 評価方法等 |
|---------------|----|---|----------------------------------|
| 知識・技能 | 4 | 様々な表現形態による歌唱、器楽、創作、鑑賞の特徴について理解し、曲にふさわしい表現方法などの技能を身に付け、表現している。 | 学習の取り組み状況 学習プリント 授業態度 定期試験 |
| 思考・判断・表現 | 3 | 音楽を形づくっている要素を感受、知覚し、自己のイメージをもってどのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるか思いや意図をもっている。 | 学習の取り組み状況 学習発表 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 3 | 音楽を幅広く様々な視点から捉えることに関心をもち、音楽を楽しむながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 | 課題進捗状況 実技試験 |

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

| | 単元名 | 学習内容 | 学習活動のねらい |
|----|-------------------------------------|---|--|
| 前期 | 言葉と音楽 (前期中間考査) | <ul style="list-style-type: none"> ・歌声と響き 君に届くまで 小さな空 他 ・カノンにチャレンジ 平和を我らに 8声のカノン 他 ・歌曲の世界 イタリア歌曲、ドイツリート、 日本歌曲、フランス歌曲 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や呼吸法、発声法に気を付けて楽曲の特徴を感じ取りイメージをもって歌う。 ・各パートの役割や音の重なり方を意識し、表現方法を工夫してグループで発表する。 ・言語の語感を生かして発音やフレーズの歌い方などを工夫しながら楽曲にふさわしい表現を追求して独唱する。 |
| | アンサンブル (前期期末考査) | <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージックベルの演奏 映画音楽メドレー | <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、旋律、強弱などの要素を理解し、表現を工夫してグループ活動する。 |
| 後期 | 世界中の音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・ギターの基礎 翼をください ギター二重奏 他 ・日本の楽器 三線で沖縄の音楽 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ギターの奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾ける。 ・五音音階の種類と特徴を知覚し、楽器の奏法と表現上の効果とのかかわりを理解する。 |
| | 音楽の要素とはたらき 音のスケッチ (学年末考査) | <ul style="list-style-type: none"> ・創作 リズムアンサンブル 音階と形式と和音 ・鑑賞 西洋音楽史と日本の伝統音楽 ・コンサートの企画 テーブルミュージック | <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの読譜や記譜を正しく理解し、アンサンブルの喜びを味わう。 ・楽曲の歴史的背景を知るとともに演奏者による表現の特徴を理解し、意見交換する。 ・構成を工夫して演奏することに関心をもち主体的協働的に学習活動に取り組んでいる。 |